２０２３年度 秋田県ダンススポーツ連盟 第４回理事会 議事録

１　開 催 日 時　　2023 年 12 月 11 日（月）13 時 30 分～16 時 00 分

２　開 催 場 所　　秋田市北部市民サービスセンター(キタスカ)３階洋室５

３　出　席　者　　長谷川会長、富樫副会長、三浦理事、富樫理事、
尾留川理事、田中理事、佐々木理事、奈良理事、
山岡監事、以上９名

４　議　　長　　長谷川会長

５　書　　記　　奈良理事

６　司　　会　　奈良理事

７　会 議 概 要

理事会は 13 時 35 分に司会者が開会を宣言し開会された。続いて長谷川会長より挨拶があり、師足の忙しい中の参集のお礼と会議時間が少なく議題が多いため、円滑に会議を進めてほしい旨のお願いがあった。

会議に入り、はじめに担当理事から４件の報告があった。次に５議題の協議に入り、担当理事の説明の後、討議した結果、各議題とも一定の結論を得た。

その他として、① デジタル会員証普及率の向上策②長谷川副会長からの理事会開催日時の提案③新春ダンス交流会の開催、等について討議された。

会議は、予定された全ての報告事項、協議事項及びその他で出された事柄を討議し、16 時 35 分に閉会した。

８　会議内容と結果

報告事項

① JDSF 秋田 ダンスフェステバル(11/12)の報告（富樫副会長）

当日は寒い日となり、参加者が少ないのではないか心配したが 83 人が参加し盛況であった。収支についても３万円ほどの黒字であった。(配布資料参照)

（実質収支は JDSF 本部ブレイキング補助分 13,000 円を控除した 18，567 円の黒字)

② 秋田県スポーツ協会創立１００周年記念誌の原稿の報告（長谷川会長）

すでに秋田県スポーツ協会に原稿を提出済みであり、原稿及び関連資料により報告された。(配布資料参照)

③ リアルシステム維持管理費等の報告（三浦理事）

今年度分も含め５年分の維持管理費として岩手県の堀江さんに支払い済みとの報告がされた。

④ 2024 秋田県 DS 大会の会場について（長谷川会長）
前期大会は中央シルバーエリア、後期東北ブロック大会（10/6）は市立体育館サブアリーナを確保したが、後期東北ブロック大会と JBDF 岩手大会がバッティングする可能性が高いとの報告があり、以後はバッティングした場合の対応方針についての討議となった。討議内容は以下のとおりであった。
・この件についてはすでに会長が東北ブロックの村上委員長に相談し、当初の 10 月 6 日と 11 月 3 日を大会開催候補日として本部に連絡済みである。
・JBDF 岩手大会が 10 月 6 日に決定した場合の対応について討議した結果、今年度、青森の東北ブロック大会で JBDF 山形大会とバッティングし、多額の赤字となった例もあり、参加者が分散し参加者減による参加料の減少は確実であり、これを補填する広告収入の確保は困難であり、秋田市立体育館、県立体育館以外の会場を確保に向け動くこととした。
・（会議終了後、市立体育館の担当者には上記について報告し、12 月中に今後の方針を示せる予定である旨を伝えた。・・・奈良）

協議事項
① 2024 前期秋田県 DS 大会について（長谷川会長）
・3 月 10 日、中央シルバーエリアに於いて開催する前期大会のシラバス（資料参照）はすでに本部に提出済みである。後日、いきいきねんピック親睦大会と併せた実行委員会を開催し、役割分担等詳細について決定することとした。（親睦大会の参加組数決定後の 2 月 12 日、キタスカ開催とした。）
・東北ブロックからシラバスの間違いを指摘されたとのことだが、チェックして東北ブロックに提示しているのかとの質問があり、長谷川会長が作成し、川井さんからチェックしてもらい提出した。との回答であった。
・中央シルバーエリアに暖房機器の持ち込み及び、卓球台スペースの貸付を打診したが、いずれも不可との回答であった。
・三浦理事から審査員の宿泊先を確保のため、秋田市内の複数のホテルをあたり、秋田駅東口の東横インを予約した。大会のたびに宿泊先の予約やタクシーの手配に労力と時間をとられているとの話があった。これを受け、当県連においては役員の高齢化や人材不足の傾向が進んでおり、負担が増している。JDSF 本部あるいは審査員みずから宿泊先の手配や大会会場までの行き帰りの交通の手配をするように見直しできないか、本部又は東北ブロックに提案してはどうか、との意見があった。
（本部は、支部の負担軽減や支援拡大を考えた施策を実行してほしい。奈良）
② いきいき長寿あきたねんりんピック親睦大会との併設事業について（奈良）
・社協との協議の結果、いきいき長寿あきたねんりんピック親睦大会の開始時刻等の変更の了承を得た。別添資料の大会要領変更案で大会開催可能であ

れば、このような形で大会を開催し、大会終了後、交流会を行いたいとの説明があり、討議の結果、８時３０分からの会場準備でも１０時競技開始は可能とのことで事務局案のとおり了承された。
・親睦大会及び、いきいき交流会の案内文書（別添資料）については、社協から内容等を確認してもらい同意を得、大会申込書と開催要領を同封しDMで過去に親睦大会に参加した人と出場が期待できる人に送付する。（理事会後社協と協議し、送付料社協持ちで１月上旬にDMを発送することとなった。）
・D級以下競技選手が激減しているため、ライジングスター戦の参加資格をD級以下からC級以下に変更した。
・開催要領の参加資格については、上記のほか様々な改正案が出されたが結論に至らなかった。2024年度大会に向け再度検討することとした。
・菅原理事から親睦大会に出場予定であるが、チェアパーソン職に就けるかとの質問が寄せられており、このことについて協議した結果、チェアパーソン職に就いて問題なしとの結論となった。また、スクルティニアは織田監事にお願いすることとなった。
・審査員については、３人とし、旅費込み１万円でお願いすることとした。また、 ① 審査員はJBDFの先生、JCFの先生、JDSF審査員かPDの先生の構成が望ましい。② できるだけ審査員を固定しない。③ 公平な審査をお願いすること。等の意見があり、これに沿って人選することとした。JCFの岩谷先生が審査員の報酬は安価でも審査員をしたいとの意向との情報があり、岩谷先生に依頼することとした。JBDFの先生については、大会当日がJBDF総会とかち合う可能性があり、保留となった。（後日、山岡監事から2月18日総会の情報あり）
JDSF審査員については、長谷川先生は今年度から当連盟の副会長であると共に、昨年の審査員審査であることから、適さないのではないかとの意見や秋田県で公認審査員資格保有者は川井さん一人であり、また、他県の審査員にお願いすることは経費の面で現実的でないので、川井さんにお願いしてはどうか、等の意見があったが、JBDF総会の日時がわかりしだい、三役で協議し、岩谷先生以外の２名の審査員を決定することとした。
（今後、審査員の選定ルールや報酬等について明文化したらどうか？‥奈良）
・スタッフの日当を千円に引き下げ、昼食用としておにぎりを支給する。
・DM発送に合わせ当連盟ホームページ掲示、サークルを通しての会員周知及び、ダンス教室へのポスター掲示などで広報する
③ 2024総会について
協議の結果、次のとおり決定した。
・５月25日（土）、キタスカ又は、御所野ふれあいセンターに於いて開催する。

・開催案内は１か月前をめどに発送する。
・監査は本監査の前に事前に監査員と連絡をとり、円滑に進めるように努める。
④ 「ダンスビュウ」への寄稿依頼について（長谷川会長）
・JDSF 広報部から「ダンスビュウ」への原稿依頼があり、奈良理事が執筆することとなった。（寄稿は支部の輪番制・・・配布資料参照）
⑤ リアルシステム別会計化の手法について
・第３回理事会からの継続案件である。協議の結果、新たな手続きが不要で以後の出入金が容易等の理由から JDSF 秋田のゆうちょ銀行総合口座通帳の担保定期貯金にリアルシステム貸付料を通常貯金から移し替えることとした。しかし、令和４年度以前の貸付料全額 31 万 7 千円を通常貯金から移し替えることは、多額であり運転資金に支障をきたす可能性があるため、今年は令和５年分のみを今年度中に移し替えることとした。次年度以降は財政事情等を勘案し適正に対処することとした。

その他
① デジタル会員証普及率の向上の取り組みについて（長谷川会長）
・会長から東北ブロックデジタル会員証普及率の資料の提示があり、本部では、デジタル会員証の普及向上を進めているが、普及が進まない状況であり、支部に普及向上に向けた取り組みをするよう要請されている。何か良い案ないか意見を求められ、①デジタル会員に何らかの恩恵を与える、②本部が実効性のある向上案を策定し、全国的に運動を展開する。などの案がだされた。
② 理事会開催時刻・曜日等の設定の見直しの検討について
・長谷川副会長から、理事会開催時刻・曜日等の見直しの提案（配布資料参照）があり検討した。意見等は以下のとおりであったが、結論に至らなかったことから、次回以降も検討を重ね方向性を出していくこととした。
・現在、主に月曜日の午後 1 時 30 分から 4 時の開催となっている。
これは過去の理事会で各理事に都合の良い日時等を聞き取りし、出席率が最も高い曜日と時間帯を設定している。当時と理事メンバーが代わっているので改めて聞き取りし最良の開催時刻・曜日を設定する。
・午前に開会し正午までに会議を終えることは、秋田市以外の理事もおり困難と思われる。
・デジタル会議と併用した会議の開催を実施する。
・(現役世代の平日出席は年 1～2 回程度ならまだしも極めて困難と思われ、リタイアメントに支障がなければ、土・日開催が常識的には良いと思われる。ただし、土・日曜日にレッスンをとっている人や長谷川先生の営業を考

慮すれば、午前中に会議が終了することが望まれる。そのためには、会議時間の短縮が必要であり、案件の絞り込みや会議資料の事前提示と充実など時間短縮に向けた取り組みが求められる。・・奈良の意見です）

③ 新春ダンス交流会の開催について（富樫副会長）

・富樫副会長から、新春ダンス交流会の開催に至る経緯等について以下の説明があった。

・1 月 6 日、中央シルバーエリアにおいて開催する。（パンフレット参照）

・JDSF 秋田では初めての試みであるが、他で行っている過去の正月のダンスパーティーは盛況であり、前々から実施したいと思っていたところ、3 月 10 日の前期秋田 DS 大会を中央シルバーエリアにおいて開催することとなり、会場の暖房状況の確認を兼ね実施することとした。

・実施に当たり、会場の予約状況を確保したところ 1 月 6 日（土）より休日の空きがなく、かつ、他団体から予約が入る可能性があったことから、仮予約の後、三役と協議し交流会開催を正式決定した。

・交流会まで期間がなく、早期に広報する必要があると考え、理事の皆さんにお知らせする前に当連盟ホームページに掲示してしまった。今後、このようなことのないよう留意する。とのお詫びがあった。

※ 追加の報告事項（奈良）

前会理事会で確認することとした、「ねりんピック選抜戦出場要件」ついて社協に確認したところ、社協としては広く全県から選手を募りたいとのことであり、今後とも従前どおりの出場要件とすることとした。　以上

令和５年 12 月 28 日

書記　奈良　正右衛門

ＪＤＳＦ秋田役員の皆様へ

第４回理事会の議事録を供覧します。